

# 会社の将来を見越した 独自のワークフローが完成！

製造業・流通サービス業を中心とした企業の情報システムに関するコンサルティング、企画、設計、アプリケーション開発、さらに最適なハードウェアの選定・調達、完成したシステムの運用・保守、まで一貫したサービスを提供しているクオリカ株式会社様。中期経営計画で掲げた「営業力強化」という大目標を達成するため、社内システムの統一化に挑まれている同社財務経理部の福満氏、三田氏にAppsWFを導入された経緯について伺いました。

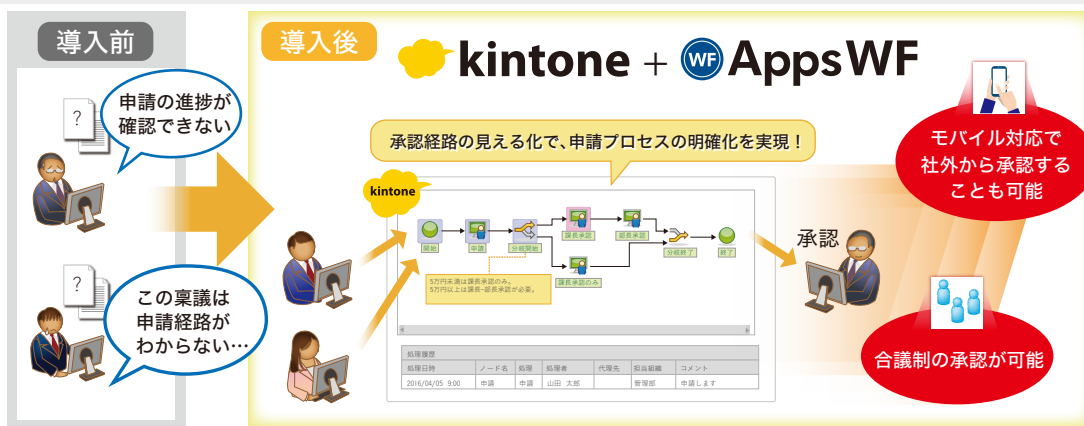


福満 秀和氏

三田 稔久氏

## 主な効果

- 3カ月での運用開始を実現
- 急な組織変更や部署移動に対応
- モバイル対応による社外承認でビジネス効率アップ&潜在コスト削減



## 目標は営業担当の「事務処理の効率化」

社内の「営業力強化」を達成するため、財務・経理の立場である私たちが掲げた目標は「事務処理の効率化」。各部署、各拠点で使っていた別々のシステムを統一化させることで業務効率化を達成し、さらに資金の流れを見える化させることで、営業活動や経営判断に役立つ情報を提供していこうと考えたのです。

まずは、情報のベースとなるプラットフォームとしてkintoneを選んだのですが、ここで一つの壁にぶつかります。それは企業における一連の業務手続きの流れを図式化するためのワークフロー。複数の承認者の合議によって承認がなされるような当社独特のワークフローがkintone標準の機能ではカバーしきれなかったのです。

そこでkintoneの販売元であるサイボウズさんからご紹介いただいたのがオプロさんのAppsWFでした。

## 社員が迷うことのないワークフローが完成！

当日リリースされたばかりのAppsWFですが、オプロさんのサポートもあり3カ月ほどで運用のための準備が整いました。開発部門でもない私たち素人が主体でつくった割にはとてもよくできている、実際に運用してみてそう感じています。

かつてのシステムだと承認ルートのどこまで申請が進んでいるのかが見えませんでした。今では管理者がすべての承認状況を明確に把握できています。

また、申請者側も誰に何を申請すればいいのか迷うことがないので問い合わせ件数は減りましたし、仮に操作に関する問い合わせがあった場合でも同じ画面を見ているので、的確な返答もできます。

さらにモバイル対応で社外から承認が出せますので、社内のビジネス効率は飛躍的に高まったと言えるのではないのでしょうか。

効果測定のための社内アンケートはこれから実施するつもりですが、ある社員からは既にこんな意見をもらっています。「差し戻された際の修正がラクになった」。これは見積書をつくるシステムと申請のためのシステムがバラバラだったことにより、申請の差し戻しを受けた際、コピー&ペーストができず手入力での修正を余儀なくされていたからです。このようにシステムが統合されるだけでさまざまな副次的効果が期待できるので、ワークフローの成功を受けてシステム統一化への意欲がますます湧いてきました。

## ワークフローを力強く柔軟にフォロー

AppsWFは突然の組織変更や部署移動にも十分対応できる柔軟性を持っていますし、技術的な支援が必要な場合でもオプロの皆さんがフォローしていただきますので、これからも安心して運用していけそうです。AppsWFはワークフローに関するソリューションをお探しのすべての皆さんにおすすめしたい製品です。